

ランプシェードの作り方

手すきの紙でオリジナルなランプを。

ランプに手すきの紙を使うと
あかりがやわらなくなるから不思議だね



準備するもの

【材料】

- ・お酒や本みりん、料理清酒の紙パック(2Lまたは1.8Lの紙パック2個以上)
- ・水
- ・アルミ製の針金
- ・ランプ台(15cm×15cm程度の大きさ／小型の電球ソケットがついたもの)
- ・ランプ(小型の電球ソケットに合うもの)

※ランプ台とランプは、小型の電池式LEDライトを接着剤で木板に固定して作成することもできます。

【道具】

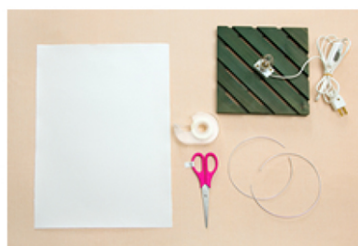
<紙すきキット>

- ・木枠
- ・アミ
- ・吸水クロス
- ・不織布(ふしよくふ)

▶ 紙すきキットについて (11、12ページを見てね)

- ・はさみ(またはカッター)
- ・棒(えんぴつなど)
- ・ミキサー
- ・ザル
- ・収納BOX(または洗い桶)
- ・ベニヤ板(または下敷き)
- ・丸棒
- ・タオル
- ・ペンチ
- ・セロテープ

※ランプシェードに飾りをつける(穴をあけたり、色をつけたり、押し花を貼りつけるなど)場合は、竹ぐし・色鉛筆・押し花・のりなども必要です。



ステップ 1

お酒の紙パックからフィルムをはがす

ステップ1で使用するもの

【材料】

お酒や本みりん、料理清酒の紙パック(2個以上)

【道具】

はさみ(またはカッター)、棒(えんぴつなど)

※お酒の紙パックがない場合は、牛乳パックで代用することもできますが、紙の量が少ないので2倍の個数が必要です。



1

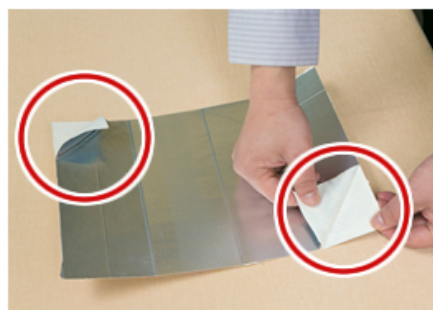
お酒の紙パックを洗って乾かしたあと、はさみを使って分解します。
のり付け部分から切り開いて、紙の重なりのある注ぎ口、底、のり付け部分は切り落として広げて長方形の形にします。



2

アルミフィルムの面を上にして、対角線上の角をどちらも少しずつはがして、はがれやすい方向を探します。

はがれやすいのはどちらかな？



3

はがれやすい方向を見つけたら、横方向にシールをはがす要領でアルミフィルムをはがします。(左右どちらか一方方向にはがせます。はがしにくい方向からはがすと、フィルムに余分に紙がくっついてしまいます)

◎このはがしやすい方向は、商品名が書かれている反対面も、同じ側がフィルムをはがしやすい方向となります。印をつけるなどして覚えておいてください。

はがしやすい方向を覚えておいてね



4

裏返して印刷側のフィルムをはがします。
まず、はさみ、またはカッターナイフで左右方向に5～6cmの間隔で端から端まで切り込み線を入れます。

◎手を切らないように注意してください。

◎家具などを傷めないように下に新聞紙等を敷いてください。



5

アルミフィルムと同様の開始側(右側または左側)から、フィルムを少しはがし、フィルムと紙の間に棒(えんぴつなど滑らせやすいもの)を入れ、フィルムを片手で持ち、もう片方で棒を滑らせるようにしてフィルムをはがします。



6

フィルムをすべてはがすと、パルプ液の原料となる良質の紙だけが残ります。



ステップ 2

パルプを作る

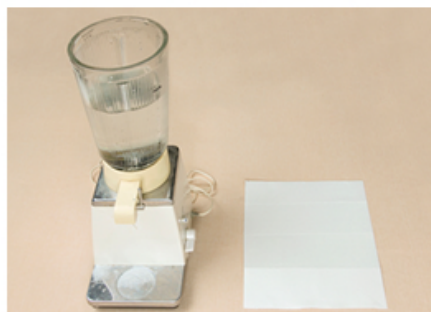
ステップ2で使用するもの

【材料】

フィルム・アルミを外したお酒の紙パック、水

【道具】

ミキサー



1

フィルム・アルミをはがしたお酒の紙パックの1/4(約15cm四方)を1cm角くらいに手でちぎります(ミキサー1回分の量です。この量でA4の紙が1枚が作れます)。紙をたくさん作る場合は、ミキサー1回ごとに分けてちぎってください。

◎一度にたくさんの紙を入れると、ミキサーが故障します。

入れすぎに注意!



2

ミキサーの3/4(約750ml)ぐらいまで水を入れ、1回分(紙パック15cm四方分)のちぎった紙を入れます。ふたをして1〜2分程度、ミキサーにかけて細かくします。

◎一気に回すとミキサーが故障するので、はじめは数秒ごとに回してください。

◎長い時間かけると繊維が細かくなりすぎて、うまくハガキが作れなくなります。

1〜2分でOK



3

1〜2分程度ミキサーにかけると、紙が分解されてパルプの溶液になります。



4

一旦パルプをザルに上げます。①〜③を繰り返してパルプをためてください。



ステップ 3

ランプシェード用の紙をすく

ステップ3で使用するもの

【材料】

パルプ

【道具】

収納BOX(または洗い桶)、木枠、アミ、タオル、不織布(ふしよくふ)、吸水クロス、丸棒、ペニヤ板(または下敷き)

※写真はハガキサイズの紙すきです。A4サイズでも同様の工程です。



1

収納BOXなどの深めの容器の6～7分目(紙すきの木枠を握った状態で完全に沈められる深さ)まで水を入れ、パルプをとかりてパルプ液を作ります。

◎液量が少ないと、紙すきがうまくできません。紙すきを行う容器のサイズを考慮してパルプ液を準備してください。

パルプ液の濃さの目安は、水10Lに対してお酒の紙パック4枚分(120～140g)ぐらいのパルプが必要です。



2

A4サイズの「アミ」を、「木枠」の間にはさみます。



3

よくかき混ぜたパルプ液に、木枠をしっかり握ったまま、まっすぐつけます。



4

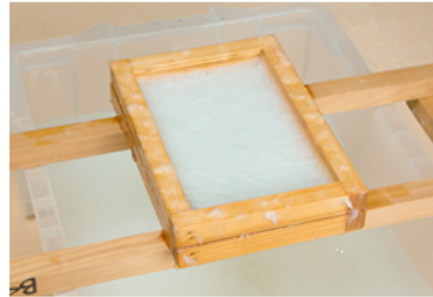
真上に向かって勢いよく上げます。
 上げてすぐ、枠の中にパルプ液がある間に細かく優しくゆずって、パルプ液を均一にします。
 ランプシェードのあかりに濃淡をつける場合は、
 ゆずらずにそのままにしてください。

まっすぐ勢いよく
 上げてね！



5

水平な場所において、水を切ります(1分程度)。
 ランプシェードのあかりに水玉の濃淡をつけた
 い場合は、指先に水をつけて、はじくようにして
 紙の上に水滴を落としてください。水滴が落ちた
 ところの紙が薄くなります。



6

水切りが終わったら、枠をゆっくりまっすぐ上にはずします。



7

上の枠を取ったときのパルプの厚みをチェック
 します。5mm位が基準です。

5mmより厚い／薄い場合はやり直しとなります
 ので、いったん引きあげたパルプをパルプ液の
 中に戻してください。
 5mmより厚い場合は、パルプ液の中に水を足
 して、③～⑥をやり直します。
 5mmより薄い場合は、パルプ液の中にパルプ
 を足して、③～⑥をやり直します。



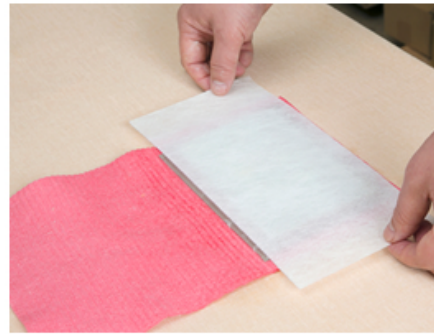
8

吸水クロスで水切りを行います。
吸水クロス(できるだけ水をたくさん吸い取るもの)の下半分の位置にアミごとのせます。



9

紙の上に不織布(ふしよくふ)のをせ、吸水クロスの上半分をかぶせます。



10

上からやさしく押さえて軽く水を切ります。

◎強く押さえると紙が変形する原因となります。

一度吸水クロスを絞って、もう一度、同じように上から押さえます。2回目は、しっかりと押さえても大丈夫ですので、しっかり水分を取ってください。

最初はやさしく
二度目はしっかり!



11

2回目の水切りができれば、不織布(ふしよくふ)を付けた状態で、アミごとひっくり返し、アミから紙を外します。

この時点では、アミにしっかり紙が付いていますので、指先で網をはじくようにすると紙がアミからきれいにはがれます(不織布(ふしよくふ)は、紙に付いたままにしておいてください)。



12

不織布(ふしょくふ)ごとペニヤ板(下敷きでもOK)などの平らなところに貼りつけて、不織布(ふしょくふ)の上からこすります(板と紙の間の空気を抜くためです)。



13

丸棒(スリコギなどでも構いません)を不織布(ふしょくふ)の上から転がして、さらに密着させます。



14

不織布(ふしょくふ)を、ゆっくりはがし板ごと乾燥させてください(一晩程度で、乾きます)。



15

乾いたら、指でも簡単に板からはがすことができます。
これでランプシェード用紙の、できあがりです。

ランプシェードの紙が完成!



残ったパルプ液は、そのまま流すと排水管が詰まるので、ザルでこすか、古くなったストッキングなど(洗濯用の袋などでもOK)でパルプを除いて流してください。
パルプ部分は、まとめて乾燥させておけば、後日、水を加えてパルプ液にもどし、紙すきに再使用できます。

残ったパルプは再利用できるよ



ステップ 4

ランプを完成させる

ステップ4で使用するもの

【材料】

A4サイズのランプシェード用の紙、アルミ製の針金、ランプ台(15cm×15cm程度の大きさ/小型の電球ソケットがついたもの)、ランプ(小型の電球ソケットに合うもの)
※ランプ台とランプは、小型の電池式LEDライトを接着剤で木板上に固定して作成することもできます。

【道具】

ペンチ、セロテープ

※ランプシェードに飾りをつける(穴をあけたり、色をつけたり、押し花を貼りつけるなど)場合は、竹ぐし・色鉛筆・押し花・のりなども必要です。



1

「ステップ③」ですいたA4サイズの紙に、色鉛筆で絵をかいたり、竹ぐしであかりがもれる穴をあけたり、押し花を貼りつけるなどして、オリジナルの飾りをつけます。



2

飾りづけしたランプシェード用の紙を筒状にして、セロテープで貼り合わせます。



3

アルミ製の針金を筒の内側に合うように切って輪を2つ作り、筒の上下に針金の輪をつけて内側からセロテープで固定します。

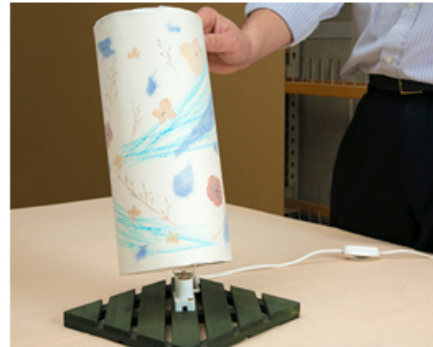


4

ランプシェードを、ランプ台にかぶせて、できあがりです。
(A4サイズを2枚以上貼り合わせて、さらに大きなランプシェードを作ることも可能です)

◎電球は熱くなるので、ランプシェードと電球が接しないように注意してください。

紙と電球が
くっつかないように！



うまくできたかな？！

紙すきキットについて



紙すきキットは
自分で作るもよし
買うもよし

紙すきキットを手づくりする



「木枠」は木の角棒を使って作成。木枠以外の道具は、市販のものを活用します。

「木枠」の作成に使用するもの

【材料】

木の角棒(1cm角程度)、釘、木工用ボンド、目の細かい
アミ(金属製/隙間が1mm程度のもの)

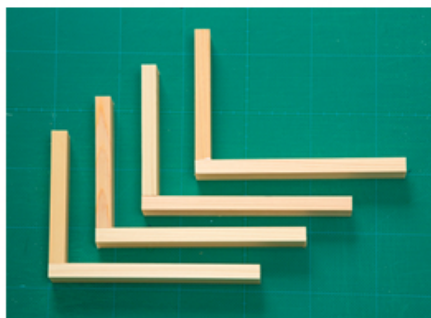
【道具】

のこぎり、金づち



1

角棒をのこぎりで切って、内側が作りたい紙の
大きさになるよう縦・横4本ずつの角棒を作り
ます(金属製のアミをはさみこむ上下の木枠が
必要です)。



2

木口に木工用ボンドをつけて枠の形をつくりま
す。



3

バンドが固まってきたら四隅を釘で固定します。



4

木枠のほか、ホームセンターなどで購入できる
 ・木枠の外側と同じ大きさの「金属製のアミ」
 ・木枠の2つ分以上の大きさの「吸水クロス」
 ・木枠よりひとまわり大きい「不織布（ふしょくふ）」
 が必要です。



紙すきキットを購入する



紙すきキット一式を購入することもできます。

紙すきキットは、以下のような市販品を購入することも可能です。

【キットの内容】

木枠 上下1組、ステンレス製アミ、不織布（ふしょくふ）、吸水クロス

【購入先】

紙好き交流センター 麦の会

TEL:072-893-9620 FAX:072-893-9619

ホームページ: <http://www.8sico.com/>

